

ASEANにおけるコールドチェーン物流促進に向けた 国土交通省の取組について

2018年12月7日（金）
第2回 GFVC推進官民協議会
国土交通省 総合政策局 国際物流課





日ASEANコールドチェーン物流ガイドライン



- ASEAN各国のコールドチェーン物流レベルや宗教事情を考慮したうえで、**倉庫事業者、輸送事業者及び各国物流担当省庁**に対する基本的な留意事項を盛り込んでいる。
- 本ガイドラインは、**2018年11月の日ASEAN交通大臣会合での承認済み**。

- 今後、ASEAN各国で当該ガイドラインを活用し**国家規格化や、物流団体による推奨等**によってコールドチェーン物流の普及を図る。

Ex.



タイ運輸省 陸運局の取組



国交省 規格作成の支援

- トラック事業者による高品質なコールドチェーン輸送サービスを確立するため、**規格化**を取組んでいる。
- 対象貨物は、トラック輸送される**農産物**。
- **2018年度中**に規格内容を完成予定。



規格化



コールドチェーン物流の専門家派遣



専門家によるメール応対



陸運局主催のワークショップへ専門家が出席し、規格内容に助言

小口保冷輸送サービスの国際標準化

- コールドチェーン物流サービスの国際標準化に向けて、英国、日本においてクール宅配便サービスの規格（PAS1018）を発行。
- 2020年までにISO化を目指し、世界各国へ働きかけを強化するとともに、我が国のクール宅配便サービスの競争優位性を確立する。

コールドチェーン物流サービスの国際規格化の意義

ASEANの粗悪な保冷宅配サービス

- 長時間日光に曝されている
- 過剰な量の保冷ボックスを運ぶ

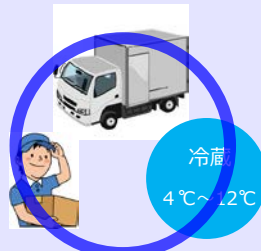
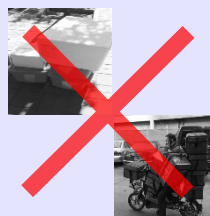


- コールドチェーンが安定した社会インフラにならない
- 日系物流事業者の高品質なコールドチェーン物流の訴求力が弱くなる

①日本のコールドチェーン物流の国際標準化



②国際標準のASEANへ普及



国交省の取組

- ✓ 平成28年3月より「我が国物流システムの国際標準化の推進等に関する連絡検討会」を開催し、**我が国物流システムの国際標準化に向けたアクションを検討。**



- ✓ 平成29年2月に英国規格協会（BSI）より、世界初のクール宅配便サービスの規格（**PAS1018**）が発行。



- ✓ 平成29年11月に日本規格協会（JSA）より、クール宅配便サービスの日本語規格（**JSAS1018**）が発行。

今後の取組

PAS

- ✓ 第6回「我が国物流システムの国際標準化の推進等に関する連絡検討会」を2019年1月に開催予定。

ISO

- ✓ 第2回ISO/PC315国際委員会を12月ロンドンで開催
- ✓ 2020年までにクール宅配便サービスの**ISO化**を目指す。

物流パイロット事業

- 我が国物流サービスのASEANへの導入に向けて、実証実験を行い、**官民一体となって事業化に向けた課題の特定とその解決を図ることを**通じて、ビジネスモデルの確立を目指す。

● 平成28年度

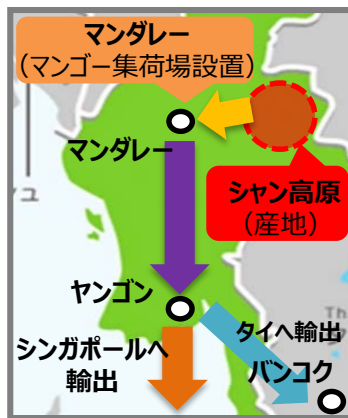
ミャンマーにおけるマンゴー輸送に係る実証を実施

① 実証内容

- ✓ マンゴーの集荷・輸送に鮮度保持剤等の物流機器や選果機等を導入検証
- ✓ 品質保持・付加価値向上効果・課題等を検証

② 実証目的

- ✓ マンゴーの出荷前および輸送工程における現状の物流の課題改善と輸送量の拡大を目指す



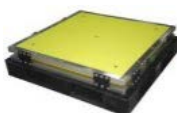
蒸熱処理装置



選果機



防振パレット



鮮度保持剤



- 炭そ病発生予防効果
- 高糖度で内部障害なし

● 品質保持効果

● 平成29年度

タイにおける保冷宅配サービスの展開に関する実証を実施

① 現状調査対象エリア

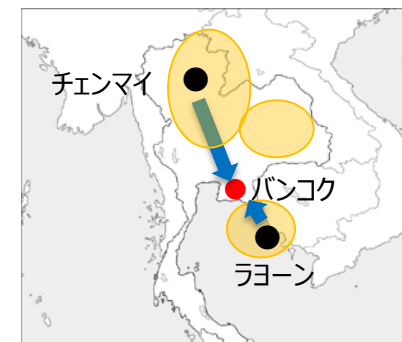
- ✓ タイ北部・東北部・東部の12エリア

② 実証運行ルート

- ✓ タイ北部チェンマイや南部ラヨーンから首都バンコクへの配送

③ 対象商品

- ✓ チェンマイより野菜・果物
- ✓ ラヨーンより鮮魚



→ 実証運行ルート

○ 事前の実態調査エリア

④ 実証結果

鮮度維持



小口保冷

一部腐敗



常温

見た目の変化はなし。
氷詰より保冷輸送のほうが梱包材料・送料において**経済的**



小口保冷



氷詰

実証運行に当たっては、小口保冷輸送サービスを基にした
PAS1018に規定される要求事項を参照し、検証ポイントを設定

物流政策対話・ワークショップ開催

- 相手国における外資規制緩和および物流に関する制度の改善を申し入れするため、毎年2国間と政府レベルで政策対話を実施。
- 我が国物流サービスおよび物流機器導入のPRと質の高いコールドチェーン物流に関する人材育成を実施し、我が国物流システムの海外展開の環境整備を図るため、日本とASEAN各国との2国間によるワークショップ（WS）を毎年開催。



日ベトナム物流政策対話 & WS

【開催日時】

- 平成30年 9月26日（水）@ハノイ

済

【参加者】

- 日本側：国交省、農水省、JICA、JETRO、物流事業者、業界団体 等
- 相手側：運輸系官庁、関係行政機関（税関、貿易・商務、外務、農水系官庁等）、ハイフォン市、物流事業者・業界団体、大学、 他

【議題】

(AM) 物流政策対話

- 両国の物流に関する政策について
- ベトナムにおける物流課題について

(PM) コールドチェーン物流ワークショップ

- コールドチェーン物流の重要性について
- 現地コールドチェーン物流事業者の業務紹介
- コールドチェーン物流を支える日本の物流機器の紹介



日カンボジア物流政策対話 & WS

【開催日時】

- 平成31年 1月16日（水）@プノンペン

予

【参加者（予定）】

- 日本側：国交省、農水省、JICA、JETRO、物流事業者、業界団体 他
- 相手側：運輸系官庁、関係行政機関（農水、貿易・商務系官庁、税関等）、物流事業者・業界団体 他

【議題】

(AM) 物流政策対話

- 我が国の物流に関する政策について
- カンボジアにおける物流課題について

(PM) コールドチェーン物流ワークショップ

- コールドチェーン物流の重要性について
- 現地日系コールドチェーン事業者の業務紹介
- コールドチェーン物流を支える日本の物流機器の紹介

物流政策対話



コールドチェーン物流WS



ASEANスマートコールドチェーン構想

- 官民が一体となりオールジャパンとして、日本の高品質なコールドチェーン物流をASEAN地域へ展開し、経済成長著しいASEAN地域の物流需要を確実に捉える新たな取組みを開始する。
- 我が国のコールドチェーン物流の技術力やサービス力による温度管理が途切れないスマートコールドチェーン物流を構築し、ASEANの社会・経済の発展に寄与する。

我が国の高品質なコールドチェーン物流



オールジャパンで海外展開の推進

- | | |
|----------|-----------|
| ・ 関係各省庁 | ・ 物流機器メーカ |
| ・ 独立行政法人 | ・ 物流設備メーカ |
| ・ 物流事業者 | ・ 官民ファンド |
| ⋮ | ⋮ |

ASEANスマートコールドチェーン構想



取組の7つの視点（SCIENCE）

- ASEAN地域へのコールドチェーン物流の海外展開を推進する上で、以下の7つの視点（**SCIENCE**）を踏まえ、オールジャパンで戦略的に取り組んでいく。

ASEAN地域への海外展開に向けた7つの視点（SCIENCE）

Standardization

- ✓ 日本の優れたコールドチェーン物流サービスや物流機器等を**国際標準化**し、普及させることにより、日系物流関連業の海外展開を支援。



New Technology

- ✓ **新技術**等を活用した高付加価値な物流ソリューションにより、ASEAN地域の物流の質の向上に貢献。



Collaboration

- ✓ 各省庁、独立行政法人、物流事業者、機器・設備メーカ、官民ファンド等、**幅広い主体の協働**によりオールジャパンで海外展開を推進。



Capacity building

- ✓ ASEANの現地の**物流人材育成**を加速化させ、進出した日系企業の円滑なオペレーションを可能にする。



Infrastructure

- ✓ 高品質なコールドチェーン物流サービスを下支えする**インフラ**（道路、港湾、空港、鉄道、倉庫等）整備をASEANにおいて重点的に推進。



Economical

- ✓ 常に荷主や消費者に対する**物流コスト**の低減を意識し、高品質と低廉なコストを両立した筋肉質なコールドチェーン物流を展開。



Environment

- ✓ 地球温暖化対策等、**環境負荷低減**の取組を着実に進めるとともに、当該分野における日本企業の強みを海外展開に生かす。



ASEANスマートコールドチェーン構想 - 取組内容

インプット

◇ 国内検討会の開催

関係省庁、関係機構、物流団体及び物流事業者等が一同に集結し、我が国の物流事業者にとって更なるビジネス展開に繋がる**5カ年の中期的な取組み、スケジュール、役割**等を検討。

Ex.

- ✓ 各省庁・機関の政策および支援ツールの共有
- ✓ ヒアリング等による物流関連の課題の整理
- ✓ 中期的なコールドチェーン物流促進の議論

アウトプット

◇ 重点国の設定

コールドチェーン物流が高需要であり、また我が国物流事業者の進出国あるいは進出予定国を**重点国として5ヶ国設定**。

(重点国：タイ、マレーシア、ベトナム、インドネシア、フィリピン)

◇ ビジョン&戦略の策定

物流に関する課題に対して関係省庁や関係機関のASEAN各国への**政策や支援ツールのマッピング**を行い、我が国の物流関連事業者にとってビジネス展開に繋がるビジョンと戦略を策定。

検討会 委員・オブザーバー

関係省庁	関係機構	業界団体	関連企業
国土交通省	JICA	物流団体連合会	物流事業者
農林水産省	JETRO	冷蔵倉庫協会	物流機器メーカー
経済産業省	JBIC	物流システム機器協会	冷蔵倉庫事業者
-	JOIN	倉庫協会	建設事業者

スケジュール

	2018年						2019年		
取組み	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
重点国	案の作成					修正・確定			
ビジョン&戦略	ヒアリング					ヒアリング			
検討会	1回				2回			3回	
	↓ 各省・機関の 取組み紹介			↓ ヒアリング 取纏め結果の報告と 重点国・ビジョン&戦略の方向性の確認			↓ 重点国・ビジョン& 戦略の議論と確定		

※コールドチェーン物流の学識者をファシリテーターとする。

FIN